

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月22日

上場取引所 大

上場会社名 モーニングスター株式会社

 コード番号 4765 URL <http://www.morningstar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 平成24年11月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け 当社ウェブサイトに動画掲載予定

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,101	1.6	311	9.7	359	6.6	223	21.5
24年3月期第2四半期	1,084	△8.1	284	11.6	336	9.1	183	7.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 223百万円 (21.5%) 24年3月期第2四半期 183百万円 (3.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	815.76	—
24年3月期第2四半期	663.31	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	7,619	7,356	96.6	26,912.59
24年3月期	7,759	7,414	95.5	27,027.23

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,356百万円 24年3月期 7,414百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	900.00	900.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の期末日における配当予想額は現時点で未定であります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、現時点では合理的な見通しを立てることが困難なため、未定であります。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	279,128 株	24年3月期	279,128 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,784 株	24年3月期	4,809 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	273,687 株	24年3月期2Q	277,129 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

25年3月期期末の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

業績予想につきましては、今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

当社は平成24年10月12日、SBIサーチナ株式会社およびSBIアセットマネジメント株式会社の株式を取得しその子会社2社計4社を子会社といたしました。詳細は4. 四半期財務諸表、注記事項(重要な後発事象)に記載のとおりであります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
注記事項 .....	9
(四半期連結貸借対照表関係) .....	9
(四半期連結損益計算書関係) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー関係) .....	9
(株主資本等関係) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の連結業績は、売上高が前年同四半期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の1,084百万円から17百万円（1.6%）の増収となる1,101百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の545百万円から1百万円（△0.3%）減少し543百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同四半期の254百万円から8百万円（△3.5%）減少し245百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の284百万円から27百万円（9.7%）の増益となる311百万円となりました。

営業外損益が、前年同四半期と比べ、純額で5百万円減少した結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の336百万円から22百万円（6.6%）の増益となる359百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同四半期の183百万円から39百万円（21.5%）の増益となる223百万円となりました。

サービス別売上高は、以下のとおりであります。

サービス別売上高	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		増加率 △減少率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
コンサルティング	321,166	29.6	315,862	28.7	△1.7
データ・ソリューション	618,906	57.1	632,577	57.4	2.2
メディア・ソリューション	144,125	13.3	152,933	13.9	6.1
連結売上高	1,084,197	100.0	1,101,373	100.0	1.6

・コンサルティング

ウェブ・コンサルティングや確定拠出年金関連の売上が増加し、平成24年1月より営業を開始したイー・アドバイザ株式会社のマネールック事業の売上も加わりましたが、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社の投資助言売上が減少いたしました。その結果、コンサルティングの売上高は、前年同四半期の321百万円から5百万円（△1.7%）の減収となる315百万円となりました。

・データ・ソリューション

ファンドデータやレポートの売上は増加いたしました。日刊「株式新聞」ほか株式情報関連の売上が減少いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の618百万円から13百万円（2.2%）の増収となる632百万円となりました。

・メディア・ソリューション

資産運用関連のウェブ広告が増加いたしました。新聞広告が減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の144百万円から8百万円（6.1%）の増収となる152百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は前連結会計年度末と比較して140百万円減少し、7,619百万円となりました。

これは主として、流動資産が前連結会計年度末と比較して687百万円増加し、6,822百万円となった一方、固定資産が前連結会計年度末と比較して827百万円減少し、795百万円となったことによるものであります。

流動資産の増加は、現金及び預金が689百万円増加したことによるものであります。現金及び預金の増加は、満期までの期間が1年以内となった長期預金を800百万円振り替えたことや営業キャッシュフローが193百万円生じた一方、配当金の支払を246百万円行なったことなどによるものであります。

固定資産の減少は、長期預金を800百万円、現金及び預金に振り替えたこと及びソフトウェアの減少などによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して82百万円減少し、262百万円となりました。

負債の減少は、主として法人税等の支払のタイミングにより、未払法人税等が35百万円減少したこと、前第4四半期連結会計期間と当第2四半期連結会計期間の仕入金額の違いにより、買掛金が23百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に223百万円の四半期純利益が計上され、246百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が23百万円減少いたしました。また自己株式が34百万円増加いたしました。その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して57百万円減少し、7,356百万円となりました。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ228百万円増加し、1,080百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、32百万円減少し、193百万円の獲得となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期と比べ34百万円増加した一方、法人税等の支払が30百万円増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、610百万円増加し、314百万円の流入となりました。

これは、長期預金へ、前年同四半期は純額で250百万円預け入れたのに対し、当第2四半期連結累計期間は350百万円を普通預金に払戻したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は前年同四半期に比べ、12百万円増加し、280百万円の支出となりました。

これは、主として期末配当金の支払が前年同四半期の200百万円から、当第2四半期連結累計期間は245百万円となったこと、自己株式の取得が前年同期と比べ、24百万円減少したことによるものであります。

(4) 連結業績予想に関する定性的情報

4. 四半期連結財務諸表、注記事項、（重要な後発事象）に記載のとおり、当社は、平成24年10月12日に、SBIサーチナ株式会社およびSBIアセットマネジメント株式会社の株式を取得し子会社といたしました。これにより、平成24年10月から平成25年3月までの下半期6ヶ月間のSBIサーチナ株式会社とその子会社およびSBIアセットマネジメント株式会社とその子会社、計4社の業績を、当社の当期（平成24年4月1日から平成25年3月31日）の連結業績に連結いたします。

この新規連結による影響金額は現時点では予想困難であり、今後の統合過程で算定することとなります。

また、当期の連結業績全体について、当事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、当社グループの業績を現時点で合理的な算定を行なうことが困難な状況であります。

当期の連結業績予想は、本株式取得による連結業績への影響も含め、今後、予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成24年10月12日をもって、S B I サーチナ株式会社およびS B I アセットマネジメント株式会社の株式を取得し、同2社およびその子会社、計4社を新たに子会社といたしました。

詳細は、4 四半期連結財務諸表、注記事項、（重要な後発事象）に記載のとおりです。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,221,647	1,911,120
売掛金	283,084	292,476
有価証券	4,569,250	4,569,275
たな卸資産	*1 6,593	*1 6,750
繰延税金資産	17,211	16,152
その他	38,342	26,565
貸倒引当金	△1,285	—
流動資産合計	6,134,844	6,822,341
固定資産		
有形固定資産	*2 25,674	*2 18,891
無形固定資産		
のれん	111,188	107,502
ソフトウェア	213,728	192,197
その他	6,820	14,980
無形固定資産合計	331,737	314,680
投資その他の資産		
投資有価証券	70,921	70,261
繰延税金資産	1,762	1,718
長期預金	1,000,000	200,000
その他	193,633	190,442
投資その他の資産合計	1,266,316	462,422
固定資産合計	1,623,729	795,994
繰延資産		
株式交付費	1,221	916
繰延資産合計	1,221	916
資産合計	7,759,795	7,619,252
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	51,772	28,167
未払金	98,087	77,673
未払法人税等	169,111	133,663
未払消費税等	17,821	18,518
その他	8,727	4,834
流動負債合計	345,520	262,858
負債合計	345,520	262,858
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,093,080	2,093,080
資本剰余金	3,208,782	3,208,782
利益剰余金	2,256,602	2,232,978
自己株式	△144,108	△178,447
株主資本合計	7,414,356	7,356,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△81	—
その他の包括利益累計額合計	△81	—
純資産合計	7,414,274	7,356,394
負債純資産合計	7,759,795	7,619,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,084,197	1,101,373
売上原価	545,085	543,588
売上総利益	539,111	557,785
販売費及び一般管理費	※1 254,589	※1 245,793
営業利益	284,522	311,991
営業外収益		
受取利息	53,575	46,766
受取配当金	16	10
その他	805	1,586
営業外収益合計	54,397	48,363
営業外費用		
為替差損	1,370	50
株式交付費	254	305
自己株式取得費用	—	313
その他	366	577
営業外費用合計	1,991	1,246
経常利益	336,928	359,108
特別損失		
事務所移転及び閉鎖費用	※2 1,594	—
持分変動によるみなし売却損	1,463	—
受託投資信託償還損失	※3 9,066	—
特別損失合計	12,124	—
税金等調整前四半期純利益	324,804	359,108
法人税、住民税及び事業税	142,009	134,788
法人税等調整額	△1,027	1,057
法人税等合計	140,982	135,845
少数株主損益調整前四半期純利益	183,821	223,263
四半期純利益	183,821	223,263



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	183,821	223,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	81
その他の包括利益合計	△39	81
四半期包括利益	183,782	223,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,782	223,345
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	324,804	359,108
減価償却費	48,991	51,206
長期前払費用償却額	3,190	3,190
のれん償却額	3,685	3,685
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△90	△1,285
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△8,250	—
受取利息及び受取配当金	△53,591	△46,777
株式交付費	254	305
固定資産除却損	832	—
為替差損益（△は益）	1,370	△42
持分変動によるみなし売却損益	1,463	—
売上債権の増減額（△は増加）	△4,527	△9,391
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,306	△156
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,272	△23,605
未払金の増減額（△は減少）	△13,938	△18,400
その他の流動資産の増減額（△は増加）	5,867	1,760
その他の流動負債の増減額（△は減少）	7,474	△2,158
小計	309,957	317,439
利息及び配当金の受取額	54,809	45,535
法人税等の支払額	△138,724	△169,448
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,041	193,525
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
定期預金の払戻による収入	950,000	350,000
長期預金の預入による支出	△1,000,000	—
有価証券の売却による収入	—	741
有形固定資産の取得による支出	△7,236	—
無形固定資産の取得による支出	△60,945	△35,806
敷金及び保証金の差入による支出	△4,208	—
敷金及び保証金の回収による収入	27,209	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△295,181	314,935
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による支出	△1,832	—
自己株式の取得による支出	△59,094	△34,338
少数株主からの払込みによる収入	1,770	—
配当金の支払額	△200,511	△245,924
少数株主への配当金の支払額	△8,235	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△267,904	△280,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,370	42
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△338,415	228,240
現金及び現金同等物の期首残高	1,047,638	852,155
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 709,223	※1 1,080,396

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
仕掛品	3,241千円	2,398千円
貯蔵品	3,352千円	4,352千円

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
	174,467千円	181,251千円

(四半期損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
役員報酬	18,511千円	37,455千円
従業員給与	79,965	66,093
荷造運賃	44,111	41,823
支払報酬	10,515	9,701
賃借料	6,579	5,117
雑給	852	919

※2 事務所移転及び閉鎖費用の内訳

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

当社との合併に際して、子会社ゴメス・コンサルティング株式会社が事務所を閉鎖し、当社事務所内に移転した際の費用、および子会社モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社の移転費用であります。その内訳は以下のとおりであります。

固定資産除却損	832千円
事務所移転諸費用	761

※3 受託投資信託償還損失の内訳

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

子会社 MS Investment Servicesが、管理運営する外国籍投信を早期償還した際に、当該外国籍投信の設立費用の未償却残高を、契約に基づき、MS Investment Servicesが負担し、生じた損失であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	927,932千円	1,911,120千円
有価証券	4,569,223	4,569,275
預け金	12,068	—
3ヶ月超の定期預金	△300,000	△900,000
現金同等物以外の有価証券	△4,500,000	△4,500,000
現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高	709,223	1,080,396

（株主資本等関係）

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

配当に関する事項

（1）配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 （千円）	1株当たり配 当額（円）	基準日	効力発生日
平成23年5月20日 取締役会	普通株式	利益剰余金	200,911	750	平成23年3月31日	平成23年5月31日

（2）基準日が当連結会計年度開始の日から当第2四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

配当に関する事項

（1）配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 （千円）	1株当たり配 当額（円）	基準日	効力発生日
平成24年5月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	246,887	900	平成24年3月31日	平成24年6月1日

（2）基準日が当連結会計年度開始の日から当第2四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
(1) 1株当たり四半期純利益金額	663円31銭	815円76銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	183,821	223,263
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	183,821	223,263
普通株式の期中平均株式数（株）	277,129	273,687
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
（算定上の基礎）		
四半期純利益調整額（千円）	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
（うち、子会社の発行する潜在株式による四半期純利益調整額）		
普通株式増加数（株）		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項は、ありません。

（重要な後発事象）

当社は、平成24年10月11日開催の取締役会において、SBIサーチナ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：朝倉智也、以下、「SBIサーチナ」）およびSBIアセットマネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：木暮康明、以下、「SBIアセットマネジメント」）の株式を平成24年10月12日に取得し、子会社とすることを決議いたしました。

## 1. 子会社化（株式取得）の目的

### ① SBIサーチナの子会社化

SBIサーチナは、月間1億ページビュー・月間1100万ユニークユーザー（※1）を有する日本最大の中国情報サイト『サーチナ』の運営のほか、金融機関への香港、中国大陸市場データ及び企業情報の提供、Yahoo、MSN等複数メディアへの情報配信、53万人（※1）の中国人モニターを抱える中国専門シンクタンクである子会社 上海サーチナ（正式名、「新秦商務諮詢（上海）有限公司」）を通じた中国進出企業向けのマーケティング及びリサーチレポートの提供等を行っております。（※1 平成24年8月現在）

国内株式市場が低迷を続けるなか、中国を中心とする新興国は今や世界経済の成長エンジンへと変貌し、その成長率は先進国を上回り、世界経済の主役となりつつあります。それに伴い日本の投資家の新興国投資への情報ニーズは高まっており、当社も平成23年10月より新興国専門投資情報サイト『エマージングマーケットアイ（EM eye）』を運営するなど新興国情報を拡大してまいりました。

今般のSBIサーチナの子会社化は、当社グループが急速な成長を遂げているアジア、特に中国に関連した情報配信を拡充し、投資家のみなさまの情報ニーズに応えていくことを目的としております。

また、当社グループの運営する、国内屈指の金融情報サイト『モーニングスターウェブサイト』、証券専門新聞として国内最大の発行部数を誇る日刊『株式新聞』、国内唯一の新興国専門投資情報サイト『エマージングマーケットアイ（EM eye）』、日本最大級のアカウントアグリゲーションサービス『マネールック（MoneyLook®）』に、日本最大の中国情報サイト『サーチナ』を加えることで、当社グループは他の追随を許さない金融情報提供機関となります。

『サーチナ』が加わった当社グループのメディアを、Facebook、twitterなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を用いて有機的に連動することで、当社グループのメディア価値の一層の拡大を図り、収益拡大を目指していきます。

### ② SBIアセットマネジメントの子会社化

SBIアセットマネジメントは、顧客の幅広いニーズに対応し、国内外のリソースを活用して公募株式投資信託を中心に投資運用および投資助言を行っております。

特に、同社は、アジア戦略を強化するSBIグループの運用会社として、現地パートナーとの連携等によりアジアを中心とした「新興国市場」、「フロンティア市場」への投資機会を提供しております。

一方、当社の完全子会社であるモーニングスター・アセット・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：朝倉智也、以下、「モーニングスター・アセット・マネジメント」）は、モーニングスターのグローバルなファンドデータを用いて、「ファンド・オブ・ファンズ」の組成や「ファンド・ラップ」における投資ファンドの選定等の投資助言サービスや確定拠出年金関連コンサルティングを、金融機関を中心に提供しております。このようなSBIアセットマネジメントとモーニングスター・アセット・マネジメントは、事業シナジーが高く、相互にノウハウを共有することで、より独自性、専門性の高い運用商品の開発をすることができると考えております。

モーニングスター・アセット・マネジメントは、確定拠出年金法の改正により、今後拡大が予想される確定拠出年金関連コンサルティングに、SBIアセットマネジメントの投資運用ノウハウを活用することができ、一方、SBIアセットマネジメントは、当社の子会社となることで、モーニングスターのグローバルなファンドデータや53万人の中国人モニターを抱える中国専門シンクタンクであるSBIサーチナの子会社 上海サーチナのリサーチを活用して、中国・アジアを中心とした「新興国市場」「フロンティア市場」に係る投資信託について、多様な商品の設定・運用が可能となります。

このように、当社は、SBIアセットマネジメントの子会社化は、当社グループのアセットマネジメント事業拡大の契機とすることを目的としております。

2. 株式取得の主な内容

(1) 取得の相手会社

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾吉孝、以下、「SBIホールディングス」） SBIホールディングスは当社の議決権の48.6%に相当する株式を保有する当社の親会社であります。

(2) 取得株数、金額及び発行済株式総数に対する割合

取得株数及び金額	SBIサーチナ株式会社		SBIアセットマネジメント株式会社	
	取得株数	金額	取得株数	金額
	3,989株	1,196,700千円	36,600株	484,584千円
発行済株式総数に対する割合	79.1% (発行済株式総数 5,043株)		100% (発行済株式総数 36,600株)	

(3) 取得前及び取得後の所有株式数及び所有割合

取得前の所有株式数及び所有割合	SBIサーチナ株式会社		SBIアセットマネジメント株式会社	
	所有株式数	所有割合	所有株式数	所有割合
	240株	4.8%	—	—
取得後の所有株式数及び所有割合	SBIサーチナ株式会社		SBIアセットマネジメント株式会社	
	所有株式数	所有割合	所有株式数	所有割合
	4,229株	83.9%	36,600株	100%

(4) 株式取得の方式

株式取得の対価を現金といたします。

(5) 株式取得の日程

取締役会決議日 : 平成24年10月11日  
 契約締結日 : 平成24年10月11日  
 株式売買代金の払込 : 平成24年10月12日

3. 異動する子会社の概要（平成24年9月30日現在）

(1) 名称	SBIサーチナ株式会社			SBIアセットマネジメント株式会社		
(2) 本店所在地	東京都港区赤坂二丁目17番22号			東京都港区六本木一丁目6番1号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 朝倉智也			代表取締役社長 木暮康明		
(4) 事業内容	中国情報サイト「サーチナ」の運営、中国金融情報の提供ほか			公募株式投資信託を中心とした投資運用業及び投資助言葉		
(5) 資本金の額	111,200千円			400,200千円		
(6) 子会社	1社 新泰商務諮詢（上海）有限公司			1社 SBI Fund Management Company S.A.		
(7) 最近3年間の財政状況及び経営成績	（2社の単体の数値）					
	平成22年 3月期	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成22年 3月期	平成23年 3月期	平成24年 3月期
純資産	398,869	457,985	517,416	900,007	771,773	792,907
総資産	448,697	549,796	611,299	983,808	847,967	885,215
1株当たり純資産	80,939.33円	90,815.99円	102,601.02円	24,590.36円	21,086.70円	21,664.14円
売上高	436,133	509,608	550,766	764,243	710,420	686,587
営業利益（△損失）	10,234	83,178	102,790	3,518	△11,088	29,498
経常利益（△損失）	9,651	83,739	103,301	4,389	△10,923	29,891
当期純利益（△損失）	8,079	47,041	59,951	3,546	△129,659	13,564
1株当たり当期純利益（△損失）	1,639.44円	9,327.99円	11,887.97円	96.89円	△3,542.61円	370.60円
1株当たり配当金	—円	—円	—円	—円	—円	—円

4. 連結業績への影響

当社は、平成24年10月12日をもって、SBIサーチナおよびSBIアセットマネジメントの株式を取得し子会社とすることから、平成24年10月から平成25年3月までの下半期6ヶ月間のSBIサーチナと子会社およびSBIアセットマネジメントと子会社、計4社の業績を、当社の当期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の連結業績に連結いたします。

SBIサーチナおよびSBIアセットマネジメントの当期の平成24年8月までの業績は、前期に比して順調に推移しております。このまま順調に推移し、さらに当社グループとの統合効果が発揮できれば、SBIサーチナおよびSBIアセットマネジメントともに前期比増益となるものと予想されます。

そのため、SBIサーチナおよびSBIアセットマネジメントの株式取得・子会社化は、当社の平成25年3月期の連結売上高、連結利益の相当額の増加要因となるものと考えております。

(参考) 前期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の業績

(単位：千円)

	モーニングスター（連結）	SBIサーチナ（単体）	SBIアセットマネジメント（単体）
売上高	2,199,826	550,766	686,587
営業利益	595,265	102,790	29,498
経常利益	701,577	103,301	29,891
当期純利益	382,640	59,951	13,564

(注) 上記は、前期の12ヶ月間の売上高・利益であり、当社の当期連結業績に連結するのは、SBIサーチナおよびSBIアセットマネジメントの平成24年10月から平成25年3月までの当下半期6ヶ月間の売上高・利益であります。